

「**かん** **でん** **じき** **まき** 乾田直播」観察日記

その1

★**苗を作らずに、直接「もみ」を播いて稲を栽培する方法**

5月下旬、播種作業を行いました！

規模拡大が進み育苗に苦勞している大規模経営体は、乾田直播に大きな関心を持っています。管内では、特に関心の高かった大分市の(農)アグリ宗方と(農)国分に実証圃を設置しました。移植栽培との生育の違いから考えると、大分市での播種適期は5月中～下旬になります。

そこで、

- ・ **5月19日(大分市下宗方:(農)アグリ宗方圃場)**
- ・ **5月23日(大分市 国分:(農)国分圃場)** に播種を行いました。

播種の前週に降雨があり、スケジュールの遅れが心配されましたが、概ね目標とする日に播種することができました。

下宗方では播種実演会を実施したところ、農業者や関係機関等約30名の参加があり、この技術への期待の高さが表れていました。



興味津々の参加者(下宗方)

「乾田直播」播種作業の記録

下宗方



ドリルシーダー(麦:4条)で播種



麦踏用ローラーで鎮圧



播種終了後の圃場

国分



ドリルシーダー(麦:6条)で播種



播種深は2~3cmに調整



麦踏用ローラーで鎮圧

1. 品種はともに「あきまさり」です(播種量:5kg/10a、条間:30cm)。
2. 肥料には今回、特別に調整した肥効調節型肥料を使用しました。
3. 鎮圧作業は、「漏水防止」と「出芽率と除草剤の効果を高める」ために行います。

※乾田直播では、播種後の畑状態の間(播種から一ヶ月程度)の雑草対策が重要です。このため、播種後に除草剤(サターンパロ乳剤)を散布しました(右写真)。



下宗方での散布作業